

介護＝笑顔を地域に広げよう

アクティブ福祉

第61号

2025年6月発行

社会福祉法人東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会 機関誌



高齢協
ウェブサイト
はこちら♪



東京都高齢者福祉施設協議会
マスコット「アクティブル」

特集

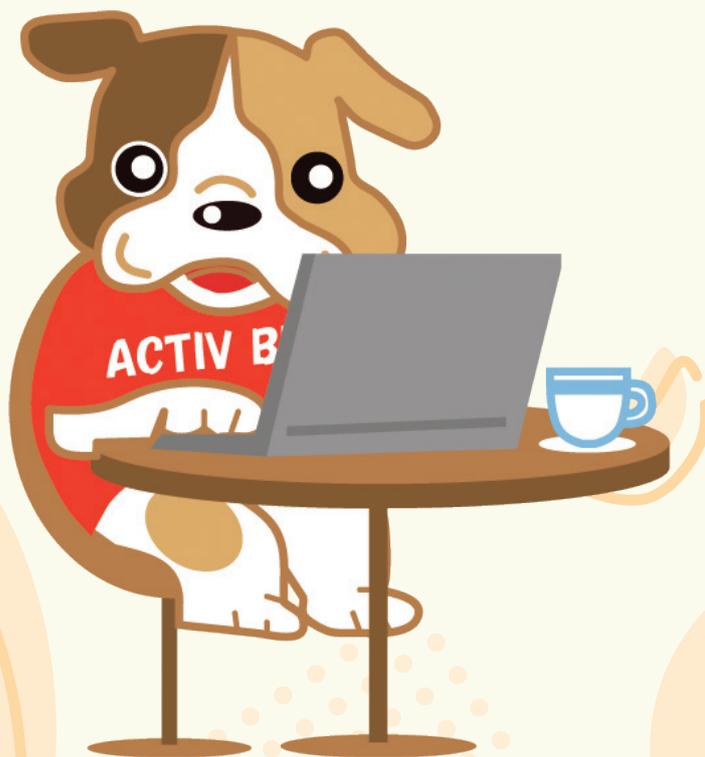
高齢協会員限定 法定研修動画完成！

東京ケアリーダーズが行く！うわさの施設 その36

東すば レシピ部門 優秀賞 今井苑（青梅市）

新コーナーその1「高齢協 SNS 戦略!!」

新コーナーその2「教えて！外国人採用、研修、施設の取り組み」



特集

法定研修動画 配信のお知らせ

東京都高齢者福祉施設協議会 **会員限定** 法定研修動画の配信を開始しました！

東京都高齢者福祉施設協議会では、会員に向けて、介護サービス情報公表制度や介護保険法等で必須とされる研修動画を公開しています。**動画1本あたり15分程度で、空いた時間に簡単に学べます。**

新任職員への研修や中堅職員の振り返りにご活用ください。



動画視聴は
こちらから▲

■ 配信内容

個人情報保護法ならびにプライバシー保護について

講師 田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科
村井 祐一 教授

個人情報保護法の歴史や目的、個人情報保護とプライバシー保護の違い、具体的な取り扱い・保護・活用など事例を含めて解説します。



認知症の理解とそのケア

講師 田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科
竹田 幸司 教授

認知症の種類とその特徴、認知症の症状、BPSDについて、また認知症の方へのケア、BPSDへの対応などについて学びます。介護現場においてすぐに実践できる内容です。



身体的拘束等の排除および高齢者虐待防止にかかる研修

講師 田園調布学園大学 人間福祉学部社会福祉学科
竹田 幸司 教授

身体拘束に関する法律、禁止行為、身体拘束が容認されるケースなどを基礎から学び、身体拘束排除に向けての取り組みや状況別の対応方法について解説します。また虐待の具体例や虐待を防ぐための方法、組織づくりについて学ぶことができます。



■ 研修一覧 (令和7年6月時点)

タイトル	構成、講義時間
個人情報保護法ならびにプライバシー保護について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎編 1 (約 20 分) ・ 基礎編 2 (約 25 分) ・ 実践編 (約 22 分) ・ まとめ・FAQ 前編 (約 18 分) ・ まとめ・FAQ 後編 (約 20 分)
認知症の理解とそのケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症とは (約 13 分) ・ 認知症の症状 (約 14 分) ・ 認知症の人に対するケア (約 14 分) ・ BPSD への対応 (約 16 分)
身体的拘束の排除と虐待等の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体拘束とその原則禁止 (約 13 分) ・ 身体拘束が容認されるケース 身体拘束をしてはならない理由 (約 10 分) ・ 身体拘束排除に向けて (約 19 分) ・ 虐待等とその予防 (約 18 分)
感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修、感染症及び災害に係る業務継続計画のための研修 (仮)	※令和7年度内公開予定
非常災害時の対応に関する研修 (仮)	※令和7年度内公開予定
ターミナルケア (終末医療) および精神的ケアに関する研修 (仮)	※令和7年度内公開予定
事故発生の予防、再発防止、緊急時の対応に関する研修 (仮)	※令和7年度内公開予定
倫理及び法令遵守にかかる研修 (仮)	※令和7年度内公開予定

根拠法令等

- ・ 介護サービス情報公表制度 (運営情報調査票)
- ・ 指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準
- ・ 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律

ほかにも、介護サービス情報公表制度や介護保険法等で必須とされる研修について、今後動画を公開していきます！

常任委員会の委員挨拶

東京都高齢者福祉施設協議会 常任委員を紹介します！

任期

令和7年4月1日～令和9年3月31日



会長／特養分科会長

社会福祉法人三交会
特別養護老人ホーム青葉台さくら苑
理事長・統括施設長 **田中 雅英**

3期目の会長として、超高齢社会における介護・福祉の変革に挑みます。現在、介護・福祉の分野は大きな転換期を迎えています。世の中が社会的、経済的、政治的に大きく変化しているからです。会員の皆様と共に、この大きな転換期を乗り越え、未来を切り拓く決意です。どうぞよろしくお願い致します。



副会長

社会福祉法人楽友会
特別養護老人ホーム白楽荘・
軽費老人ホーム偕楽荘
統括施設長 **鶴岡 哲也**

東京の高齢者福祉介護事業は厳しい経営環境に直面しています。慢性的な人手不足に加え、近年の物価高騰や他産業の賃上げが経営を圧迫しています。生産性向上への取り組みも急務です。東京都高齢者福祉施設協議会は、この厳しい状況を打開するため、引き続き多岐にわたる活動を推進してまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



副会長

つなぐれひろがれちいきの輪 in TOKYO 実行委員長
社会福祉法人三育ライフ
特別養護老人ホームシャローム東久留米
統括施設長 **我謝 悟**

今期も引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。会長や常任委員・そして会員の皆様・東社協事務局と協働して、ご利用者、職員、そして地域の皆様が幸せになれるように、前向きに、率直に意見を出し、働きやすい環境を作れるよう頑張ります。つなひろ・地域公益活動についても推進して行きたいと思っております。



支援センター分会長

社会福祉法人白十字会
東村山市北部地域包括支援センター
センター長 **海老原 努**

地域包括支援センターが始まり19年目、重層的支援やヤングケアラーへの支援も包括の仕事として担わなくてはならない現状です。世の中ケアマネ不足と言われています。そんな中、新たに入職される方と現行職員の乖離のない仕事への考え方や職場環境作り、多問題ケースや複雑化してきたケースに立ち向かうことのできる職員育成など包括には課題があります。本委員会では包括の様々な課題について参加し検討でき、やりがいの持てる会として、進めて行きたいと考えております。



デイサービス分会長

社会福祉法人西新井だいわ会
高齢者在宅サービスセンター西新井
理事長・施設長 **細井 和男**

引き続きデイサービス分会長を務めさせていただくこととなりました。軽度者とされている要介護1・2の認定者が専門的ケアのもと、適切なサービス提供が受けられ、かつ、事業者が健全な運営が維持できるよう、総合事への移管の見直しについて、皆さんと一緒に検討していきたいと思っております。



制度検討委員長

社会福祉法人博仁会
特別養護老人ホーム和楽ホーム
施設長 **宮澤 良浩**

今期も引き続き、制度検討委員会委員長を務めさせていただくこととなりました。本委員会は、都内各地域で施設の開設などにより厳しい現状となっている待機者問題について、「特養基礎調査」に基づき、都内に於ける入所待機者の実態把握と改善に取り組むと共に、今後の制度改革や諸課題への改善や提言に資する取り組みを実施して参ります。



経営検討委員会

社会福祉法人恵比寿会
フェローホームズ
統括施設長 **森山 善弘**

今期も引き続き、経営検討委員会委員長を務めさせていただくこととなりました。本年度の経営実態調査は、第25回という節目を迎えます。東京都における施設経営の課題を明らかにし、行政への提言や施設運営に役立つ情報の提供に努めてまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



災害対策検討委員長

社会福祉法人亀鶴会
特別養護老人ホーム神明園
園長 **中村 正人**

甚大な自然災害が頻発する昨今、感染症にかかわる脅威も含め施設利用者及び職員の安全安心を守るために、これまで以上に業務継続計画の実効性が問われています。3期目となる委員長を拝命しましたので、これまでの知見を活かし会員各施設に適した対策・対応の啓発を推進してまいります。



職員研修委員会

社会福祉法人仁生社
特別養護老人ホーム中川園
施設長 **櫻川 勝憲**

一昨年度のコロナ禍を経て、WEB開催から集合体実施が定着してきました。東京都は広範囲に事業所が点在していますのでWEB実施が有効でもあります。それを残しつつ、集合体を基本として参加者の知識や技術の取得はもちろん、他施設職員との交流の場を提供し、会員施設の資質向上に努めて参ります。



副会長 養護分科会長

社会福祉法人日の基青老閣
養護老人ホーム日の基青老閣
理事長 **酒井 雄祐**

この度副会長に就任いたしました、日の基青老閣の酒井です。高齢者施設において感染症対策はもとより、昨今の物価高騰への対応等会員の皆様のご苦勞は計り知れないことと存じます。介護保険制度から漏れ落ちる高齢者のセーフティーネットとしての大きな役割を持つ養護老人ホーム。その分科会を代表し、高齢者施設において唯一残る措置施設としての存在意義や社会への周知を図り会員の皆様とともに様々な問題に取り組んでいきたいと思ひます。



副会長

ブロック協議会長/区市町村施設長会代表者会長
社会福祉法人パール
特別養護老人ホーム・パール代官山
常務理事・施設長 **入江 祐介**

この度、2期目となる副会長に就任することになりました。深刻な人手不足、未だ続く物価高騰・感染症の問題、区市町村間での補助金関連の地域格差など、多くの課題を抱えているところです。こうした課題に対し、高齢協全体で力をあわせ、取り組んでいくことが重要です。微力では御座いますが、東京都の福祉・介護の発展のために全力を尽くして参りますので、宜しくお願ひ致します。



総務委員長

社会福祉法人青芳会
特別養護老人ホーム今井苑
理事長・統括施設長 **星野 芳博**

今期も引き続き、総務委員長を務めさせていただくことになりました。介護福祉分野は想定外の物価高騰や人手不足という厳しい経営環境の中、大きな転換期を迎えています。この状況化を乗り越える為明確な目標とモデルが求められます。会員の皆様と引き続き視点を共有しながら取り組んで参ります。今期も宜しくお願ひ致します。



利用者支援検討委員会

社会福祉法人さくらぎ会
特別養護老人ホームこもれびの郷
施設長 **藤田 和弘**

この度、利用者支援検討委員長に就任いたしました。高齢者福祉の現場では、利用者の多様なニーズに対応するため、さまざまな課題が存在しています。これらの課題解決に向け検討し、取り組んでいく所存です。今後とも、会員の皆様にとって有益な情報をお届けできるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願ひいたします。



アクティブ福祉 in 東京実行委員長/デジタル推進委員長

社会福祉法人友愛十字
友愛荘
施設長 **鈴木 健太**

発足から20年の節目を迎えるアクティブ福祉 in 東京は、記念すべき第20回大会を関東ブロック総会との合同で東京ビッグサイトにて開催いたします。また、デジタル推進委員会につきましては、先進施設見学会やデジタル福祉 in 東京の開催等を通じ、会員施設における介護現場改革の一助となるよう活動して参ります。



顧問

社会福祉法人白十字会
理事長 **西岡 修**

今期も皆様とともに東京の高齢者福祉の充実発展に力を合わせていきたいです。都民の高齢化、単独世帯の増加など福祉が取り組む課題が山積しています。微力ですがどうぞよろしくお願ひいたします。



副会長 センター分科会長

社会福祉法人緑友会
特別養護老人ホーム小川ホーム
施設長 **小林 美穂**

引き続き副会長を務めさせていただくことになりました。高齢者福祉・介護業界を取り巻く環境は、物価高騰、介護人材不足、利用者の重度化、地域ニーズの複雑化・複合化など日々益々厳しい状況になり、会員の皆様もご苦勞されていることと思ひます。そのような様々な課題に対して、少しでも解決していけるよう皆様とともに取り組んでいきたいと思ひております。今後とも皆様の積極的なご参加とご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。



軽費分科会長

社会福祉法人博愛会
ケアハウスハーモニー松葉
業務執行理事・施設長 **浅利 洋平**

引き続き軽費分科会長を拝命いたしました。軽費老人ホームの存在意義を社会に認知してもらうためには、目の前のご利用者に対して良いサービスを提供して実績をすることが重要です。軽費老人ホームの価値を広く都民、地域、行政へ伝え、施設経営が改善するための活動を会員施設と共に進めてまいります。よろしくお願ひ致します。



情報・広報室長/施設管理検討委員長

社会福祉法人一誠会
地域密着型特別養護老人ホーム第二偕楽園ホーム
常務理事・統括施設長 **水野 敬生**

令和7年度より、情報・広報室の室長と施設管理検討委員会の委員を務めさせていただきます。両立の重責を感じつつも、これまで以上に情報発信と現場支援の両面に力を注ぎ、介護のイメージアップと会員施設への有益な情報提供に努めるとともに、管理者支援の充実を図り、協議会のさらなる活性化と存在価値の向上に尽力してまいります。



人材対策委員長

社会福祉法人至誠学舎立川
至誠ホームミナ
園長 **諏訪 逸**

引き続き今期も人材対策委員長に就任いたしました。介護人材の確保については手詰まり感を感じる日々ですが、ひとりでも多くの方に介護を仕事として選んでもらえるよう、委員の皆さんとともに、各方面への働きかけや介護の魅力発信、研修会・勉強会の開催等の活動を推進していきます。よろしくお願ひ申し上げます。



新時代の高齢者福祉デザイン検討委員会

社会福祉法人積善会
特別養護老人ホーム長洲園
施設長 **川口 睦弘**

今期も引き続き委員長としてお世話になります。活動の自由度は高い委員会ですが、委員会設置時からの期待される役割をふまえ、新時代委員会‘ならでは’の目標や活動方針に取り組んで参ります。多岐にわたる課題を分析しながら、本委員会が高齢協の活性化やネットワークの強化となるよう、より一層邁進してまいります。



顧問

社会福祉法人聖風会
理事長 **近藤 常博**

常任委員会の顧問として、高齢者福祉施設が抱える人材不足や物価高騰、賃金問題など運営上の課題に向き合いながら、施設運営の安定化を目指し、地域社会とともに高齢者の暮らしを支える取り組みを継続してまいります。微力ながら、皆さまと協力し、高齢者支援と介護の充実尽力してまいります。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

東京ケアリーダーズが行く！

うわさの
施設

東京都高齢者福祉施設協議会の数ある会員（約1200施設・事業所）のうち、表彰や推薦など、名誉ある経験をもつ施設を紹介するコーナー。毎回「うわさ」の施設を東京ケアリーダーズが訪問し、お話を伺います。

その
36

2024年開催「東京の介護ってすばらしいグランプリ 2024」『レシピ部門』優秀賞
作品名：和風ガパオの三色丼

社会福祉法人青芳会 特別養護老人ホーム 今井苑・佐竹祐美さん

特別な食体験への挑戦

2024年「東京の介護ってすばらしいグランプリ」レシピ部門では、「和風ガパオの三色丼」で優秀賞を獲得した今井苑。タイ料理と三食丼のコラボレーションで見た目も鮮やかなメニューに取り組んだことが評価されました。今回は、発表者である栄養課で管理栄養士を務める佐竹祐美さんにお話を伺いました。



〈取材の様子〉
今井苑 栄養課 管理栄養士
佐竹祐美さん

——タイ料理と和風をコラボしたメニューの背景をお聞かせください

最近ではスーパーなどでエスニック料理を目にする機会が増えています。私個人も大手コンビニのガパオが非常においしく感じたこともあり、和食とタイの味を融合させることで、入居者様が食事を楽し

めるのではないかとという発想に至りました。

——受賞後、周りの方からの反応はいかがでしたか

職員から「簡単でおいしかった」とうれしい反応がありました。肉ダネが使えると評判で、夕飯のおかずやおにぎりの具材に使いそうです。

——レシピの特徴を教えてください

本格的なガパオですと、パクチーやナンプラーに苦手意識を感じる方も多いと思います。そこでパクチーを大葉で、ナンプラーを醤油で代用し、高齢者でも食べやすく仕上げました。また白米を麦ごはんにする事で、便秘がちな方も食物繊維が摂れやすくなりました。

——今井苑さんは2021年レシピ部門でも受賞されています

「団子入り 生姜であったか豆乳スープ」は、利用者様だけでなく職員の間でも好評だった献立です。前任の栄養士は利用者様の意見を大切に、メニューを作ったのではないのでしょうか。私も好きな主菜を選べる選択食の献立に、利用者様の声を反映させていただいています。

——実際にどのようなメニューを提供されていますか

たとえば「サバの味噌煮」と「ロールキャベツ」というように、肉と魚で選べるようにしています。実際に利用者様からは「食事がとにかく楽しみ」という声が一番多いため、特別な食体験を提供するためにアイデアを磨き続けています。

——特別な食体験について具体的に教えてください

毎月のイベント食には、ガイドブックのようなパンフレットを添えています。たとえば「バスツアーのイベント食」では、食で日本全国を旅した気分になれるよう、はとバスさん監修で観光名所も記したパンフレットを付けました。今井苑は、委託給食会社であるグリーンヘルスケアサービスとともにイベント食を提供しています。幅広いノウハウのある彼らは心強いパートナーで、パンフレットも作成していただいております。

——業務外のことにも挑戦するメリットは何でしょうか

今井苑は高齢協のコンペに応募する機会が多く、研究発表を通じて福祉関係者以外の方にも知っていただけるのがメリットだと思います。また入居者様も入職される方も施設のブログを読んでくださっており、執筆する私も手応えを感じています。採用につながるのはうれしいです。

——今後の目標をお聞かせください

食を通じて笑顔届けたいという思いから、今後は視覚的に楽しめるより特別な食体験を提供できたらと考えています。今の取り組みをさらに発展させるためにも、次回のグランプリに応募したいです。

——利用者様の楽しい食体験の提供に挑戦される姿に驚かされました。また、昨今の食材費高騰を受けて、非常に苦慮される様子も印象的でした。本日は大変勉強になりました。ありがとうございました



〈施設前で〉
左：今井苑 施設長 岸田全史さん、中央：佐竹祐美さん、右：福田歩さん（東京ケアリーダーズ）

*この記事のより詳しい内容は高齢協のホームページの「機関誌アクティブ福祉デジタル」でお読みいただけます。

<https://www.tcsww.vtac.or.jp/bukai/kourei/activefukushi/digital/index.html>

社会福祉法人青芳会 特別養護老人ホーム 今井苑

所在地：〒198-0023 東京都青梅市今井2丁目1111番1号

電話：0428-31-3800

取材：東京都高齢者福祉施設協議会 東京ケアリーダーズ 福田歩さん（ひのでホーム）

記録・編集：横山 由希路



特別養護老人ホーム 今井苑
ホームページ

新コーナー **その1** 高齢協 SNS 戦略 !!

東京都高齢者福祉施設協議会（高齢協）
公式 X 新企画のご紹介！

東京都高齢者福祉施設協議会（高齢協）では、X（旧 Twitter）をはじめ、SNS を通じて活動の様子や介護保険の最新情報、会員施設の魅力などを発信しています。

今年5月からは、新たに「介護の豆知識」（毎日18時投稿）と「介護感動秘話」（毎日21時投稿）の2つのシリーズがスタートしました。今回は、その企画についてご紹介します。

NEW

介護の豆知識



現場で役立つちょっとした工夫や、知っておくと便利な情報をやさしい言葉でご紹介しています。

介護感動秘話



ご利用者やご家族との心あたたまるエピソードから、介護のやりがいや感動を感じていただけます。ほっと一息つきたいとき、「明日も頑張ろう」と思えるきっかけとしてぜひご覧ください。

高齢協【公式】Xにて毎日投稿中！
きっと心に残る投稿があります。
のぞいてみて損なしです。



またXでは、介護施設や事業所で提供している“お昼ごはん”の写真を募集しています。「うちのごはん自慢」として紹介していますので、みなさんのおすすめメニューをぜひご投稿ください。



フォロー、いいね！
リポスト
よろしくブル

うちのごはん自慢
投稿フォームはこちら



高齢協【公式】X
@TokyoKourei



高齢協会長 X
@koureikyo



教えて！外国人採用・研修・施設の取り組み

昨今、EPA（経済連携協定）や介護ビザ、特定技能など、さまざまな制度を通じて、外国人職員を採用する施設が増えてきました。なかでも板橋区のマイライフ徳丸は、全体の職員数に対して外国人職員数の割合が4割にのびます。しかも本格的な入職は2019年から。短期間になぜそこまで外国人職員が多くなったのでしょうか。

マイライフ徳丸の人財開発研究室 石塚勇次さんに、外国人採用の取り組みについてお話を伺いました。

社会福祉法人北野会 特別養護老人ホームマイライフ徳丸 人財開発研究室 石塚勇次さん



〈取材の様子〉
マイライフ徳丸 人財開発研究室
石塚勇次さん

——外国人採用を始めたきっかけは？

将来の介護職員の人材確保難に備え、2018年にEPA介護福祉士候補者の申し込みを行いました。実際にEPA介護福祉士候補生であるフィリピン人職員が入職したのは、2019年12月でした。当時、外国人が介護職員を担うことに懐疑的に思う職員も少なくなく、ある対策を講じました。EPAの入職までの半年間、日本人職員の地ならしとして、スリランカ人留学生2名にアルバイトでお掃除などの直接介護以外の間接業務に入ってもらいました。同じ空間で外国人とともに過ごすことで、互いの距離が縮まる。これがうまくハマりました。

——現在の外国人職員を国ごとに紹介すると？

現在ではスリランカ人2名、中国人2名、インドネシア人1名、ベトナム人1名、ミャンマー人1名、ネパール人1名、ブラジル人1名。フィリピン人は、間接業務1名を含む16名で、合計25名です。全体で約60名の介護職員の内、25名が外国人なので、4割以上が外国人職員になります。

——外国人採用の受け入れ手段は？

大きく分けて4つです。

- ①EPA ②留学生からの在留資格『介護』 ③ハローワークから応募の特定技能 ④外国人職員からの紹介
そのほか国内外の日本語学校からの紹介があります。

——ハローワークの応募があるんですね？

主に特定技能の方からが多いです。ハローワークで外国人応募が増えたきっかけは、求人票の内容に少し手を加えたことでした。それは、応募者が一番不安に感じている「入職してからの勉強の支援」を特記事項に入れ、「日本語の勉強会を実施中」「外国人歓迎」を追記し、ハローワークが外国人受け入れ企業として識別してくださるようになり、紹介も多くなりました。その他にも特定技能の方は、EPAの現地説明会で配った採用パンフレットが現地で出回り、直接入職したいという連絡をもらうようになりました。



▲EPA候補生の日本語勉強会の様子

——EPAの現地説明会とはどのようなものですか？

1ブースに5～6人が15分ほどの説明会を何回回転もしていく、大手就職フェアのような仕組みで、4日間行われます。EPAの連携国はフィリピン、ベトナム、インドネシアですが、私たちは2024年までフィリピンに絞っていました。理由は、以前施設で働いていた日本とフィリピンのハーフの職員がいて、言葉の利点があったからです。私と施設長だけで見極めをすると「日本人から見た優秀な方」を選んではしまいますが、元職員はフィリピン人側の見方で「自施設に合う方」を見極めてくれます。判断は元職員の感性に任せました。また、現地説明会には全国の施設が集まる中、東京都の施設はあまり参加していませんでした。実際に候補者に会える良い機会なので、積極的に参加してみたいです。

——今後EPAでインドネシアやベトナムの採用はありますか？

近年、円安の影響などから日本で働くフィリピン人やベトナム人が少なくなってきました。インドネシアはこの2国に比べて、日本での就職にメリットを感じる方も多く、当法人も受け入れを開始いたしました。

EPA は候補生の受け入れに1人60万～100万円と費用がかかるものの、候補生は、母国での医療系大学の出身者や、看護師の有資格者が候補の条件になる為、福祉への理解度もある質の高い方々ばかりなので、今後も継続的に採用を行っていく予定です。

——外国人職員の中でフィリピンが16人と最多です。メリットとデメリットは？

メリットは同じ国同士なので、先輩が後輩をサポートしやすくなり、日本人職員もフィリピンの文化や習慣を理解しやすいことです。デメリットは、人は集団になると緩みがちになること。日本語の必要性が下がり、日本語の習熟度が受け入れ初年度の候補生より低下するという事案が発生しました。すると、フィリピン人職員から「同じ国同士だとタガログ語で話してしまうから、他の国の人も入れてほしい」「日本人相手だと日本語のスピードが速い。他の国の人だと、同じ速さの日本語で話せるし、日本語の勉強になるから」と言われました。インドネシア人受け入れにはそういった経緯もありました。



▲ EPA 候補生の日本語勉強会の様子

——生活面のサポートは？

家に関しては東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業の助成金を使い、借り上げ社宅を用意しています。またすべての社宅に家電を用意し、日本に初めて来る方にはベッドなどの家具も準備しています。その他、役所の手続き、銀行口座の開設、在留カードの更新などは施設が支援しています。

——日本語教育については？

EPA 候補生に関しては、東京都の経済連携協定に基づく外国人介護福祉士候補者受け入れ支援事業による補助金を活用し、通学と施設内での勉強会を隔週で行っています。通学の週は日本語と介護を学べる高田馬場の専門学校へ、施設内の勉強会では日本語講師の方が来られて半日授業を受け、もう半日は施設職員が講師となり、勉強会を行っています。助成金は特定技能生には活用できないので、費用の発生しない施設職員が講師を行う勉強会においては、特定技能生も参加できるようにしています。



▲ EPA 候補生の日本語勉強会の様子

——外国人職員と働いていて感じる、特徴的な出来事とは？

一時帰国、長期休暇の支援です。1回に2週間以上帰るのがスタンダードで、多くの職員は「3週間帰りた」と言います。結婚の際は、宗教上の理由などで1ヵ月間は必要なこともあります。そのため毎年年初には、本人たちの意向を聴き取り、1年間の長期休暇のプランニングを始めます。本人たちは急に1ヵ月前に帰りたと言っても難しいこと、また同時に複数人が長期に休むと職場が困ることを共有しているのでトラブル無く長期休暇が取れています。

——これから外国人採用を考えている施設の方へメッセージを

マイライフ徳丸は、今でこそ外国人職員が4割を超えるようになりましたが、これまでの歩みを振り返ると、そのときどきでできることを1つずつ積み重ねた結果が今につながっているのだと感じます。一気に進めると施設内のハレーションも起きますし、担当者も疲弊するので、焦らず1つずつトライ

することです。よく耳にするのは、「外国人を入れてみたけど、すぐに辞めちゃったから外国人はもういやや……」という声です。でも実際は、その方が少し難しただけで、その国がダメでも、外国人全体がダメなわけでもありません。非常に真面目な職員が多く、むしろ外国人の勤勉さは日本人に勝ることも少なくなく、介護に関わる感性も日本人と差を感じないことも多いです。ぜひ外国人採用については、2回、3回と挑戦してほしいです。ちなみに私のオススメは、管理団体がしっかりしている EPA です。



▲ 外国人職員の皆さん

社会福祉法人北野会 特別養護老人ホーム マイライフ徳丸

所在地：〒175-0083 東京都板橋区徳丸3-32-28

電話：03-3933-1090

記録・編集：横山 由希路



マイライフ徳丸
ホームページ

専門委員会リレートーク

第28回 経営検討委員会

経営検討委員会 委員長

社会福祉法人恵比寿会 フェローホームズ もりやま 森山 よしひろ 善弘

■第24回 特別養護老人ホーム経営実態調査

経営検討委員会では、「高齢協基礎調査」の一環として、毎年「経営実態調査」を実施しております。今年も多くのご協力をいただき、誠にありがとうございました。

今回の調査では、355施設よりご回答をいただき、回収率は68.4%となりました。しかしながら、内容に不備があったため、分析に使用できたのは298施設分となりました。せっかくご提出いただいたにもかかわらず、データを活用できなかった施設もあり、大変残念です。ご提出の際には、必要な設問にご回答いただいているか等、今一度ご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

なお、国や東京都の各種補助金や施策支援がある中でも、全体の約4割の施設が赤字という結果が出ております。経営の利益追求は法人の本来の目的ではありませんが、事業を継続・存続させるためには、一定の収益確保が必要であると、ピーター・ドラッカーも述べています。

東京都による経営支援補助金の継続とさらなる拡充を求めて、引き続き行政への要望活動を進めてまいります。今年も、「物価高騰に関する調査」、7月に「経営実態調査」を実施予定です。ご多忙の中とは存じますが、引き続き皆さまのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

■フォローアップ研修の実施

ご協力いただいた調査結果をもとに、各施設には報告書および個別票をお送りしております。これらの資料を活用し、冬期には「経営者層向け」と「実務者層向け」に分けたフォローアップ研修を実施しております。



実務者向け研修では、グループワークを通じて個票の数値を読み解き、経営感覚を養うことを目的としています。一方、経営者層向け研修では、実態調査結果をふまえ、今後の介護報酬改定の方向性を見据えながら、具体的な事例を紹介し、今後の特養経営に必要な取り組みについて考える機会としております。ぜひ多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

介護の前に養護あり

社会福祉法人日の基社会事業団 養護老人ホーム日の基青老閣

理事長・施設長 さかい ゆうすけ 酒井 雄祐

養護老人ホームは養護を必要とする65歳以上の高齢者が生活する措置施設です。

老人ホームというと都内に500か所以上ある特別養護老人ホームを想起しますが養護老人ホームは現在都内に31施設とあまり知られていない老人ホームであります。

しかし、その歴史は古く1929年に制定された救護法に基づく養老院からの流れを引き継いだ施設です。

都内の市区町村において養護が必要と判断された高齢者を行政が東京都内全域（23区内に12施設、以西に19）の養護老人ホームに措置します。

■ 介護 < 養護 = 笑顔地域に広げよう 介護状態の前に養護状態あり。

人が生きていく中で介護が必要となるまえに必ず何かしらの手助けが必要な状態が来ると思います。生活が破綻している状態、それは養護状態であると。

家族や身内がいる場合は手助けを受けることができると思いますが、一人暮らしや多問題家庭のなかの高齢者はすぐに養護が必要な状態となります。

養護状態の高齢者を把握した行政は老人福祉法にのっとりその高齢者を養護老人ホームに措置しなければならないとされています。

しかし現状は行政のアウトリーチが少ない、措置制度を知らない、養護老人ホームを知らない等の理由で措置数が少なくいわゆる措置控えと呼ばれる現象がおきています。これにより空床問題が大きな課題となっています。

養護分科会で取り上げているもう一つの課題は措置費の適正化です。

東京都下の養護老人ホームの措置費は平成18年からほとんど20年程上がって来ていませんでした。ここ数年、措置費の消費税5%~10%への対応、支援員の処遇改善加算等若干の改正はありました。

また、厚労省、自治省からの措置費改善適正化の通知も何回か発出されています。これを踏まえ東京都には広域自治体として各市区町村に対し措置費の適正な計算方法にのっとり支出するよう監督をお願いしています。

特養等介護保険施設の平均給与と比べると養護老人ホームの給与は10%~20%低く、この格差が同じ法人内で養護、特養等異動の妨げになっていると聞きます。

このような状況の中、都内31か所の養護老人ホームは頑張って運営しています。

養護とは「養い守ること」、その言葉のように…

利用者の皆さんは、いろいろ困難な生活環境から養護老人ホームでの生活を余儀なくされ入所されています。そしてここでそれぞれの皆さんが安心できるように対応し、施設が一つの大きな家となり、地域社会の中で笑顔で生活できることを目標としています。

養護老人ホーム日の基青老閣
ホームページ▶



地域に笑顔を 地域から笑顔を

軽費老人ホーム 第三万寿園

施設長 久保 幸江

■当施設について

軽費老人ホーム第三万寿園は、1983年4月、建物の老朽化による養護老人ホーム万寿園の改築にあたり、万寿園に併設（合築）して開設されました（定員50名）。

5階建ての1階から4階に居室（約9畳）があり、2019年に居室の壁紙や床材等の改修を行いました。居室内の設備は開設当初と変わらず、トイレや洗面所は各階で共用をお願いしています。

第三万寿園は万寿園と行事やクラブ活動など、催し全般と一緒に活動しています。職員は施設別に配置していますが、勤務シフトは施設別にせず一括で作成しています。

■施設での取り組み

コロナ禍のあと、それまで中止してきた様々な活動を2022年頃から徐々に再開してきました。ここでは、地域の活動に施設利用者が参加したこと、また、施設利用者が地域で活動していることを紹介いたします。

*お年寄りの手づくり作品展（東村山市高齢者福祉施設連絡会主催）

今年で38回を数え、市内の高齢者福祉施設の利用者と地域で在宅生活をしている高齢者の手作り作品の展示会です。第三万寿園の利用者がクラブ活動で作製した作品を職員と一緒に展示し、見学にも出かけました。

展示や見学の機会は、作品を通じた交流の場となり、作品に興味をもって観てもらえたことが喜びや励みとなりました。

*ボランティアクラブ

厳寒や猛暑を避けながら、近隣の住宅街や公園などのゴミ拾いをしています。鮮やかな蛍光色のビブスやウインドブレーカーを着用し、背中にはクラブ名が入っています。

先日は、住宅街で小学校低学年くらいのお子さんに「ありがとう」と声をかけてもらえて、「ますますやる気が出た！」そうです。



今年度は暫くお休みしていた、近隣の軽費老人ホームサンホームとの交流（釣り大会やサンホーム焼き芋大会へのお呼ばれ等）も再開できたらとサンホームさんともお話しています。

軽費老人ホーム第三万寿園
ホームページ▶



自主性が、地域コミュニティを活性化 ～高齢者の可能性は無限大～

社会福祉法人大三島育徳会 地域包括支援部用賀地域課 係長
用賀あんしんすこやかセンター 副センター長 山口 洋



■用賀地区にちょこっとグリーンを増やそう

令和3年度実施した一人暮らし高齢者アンケートから地域活動に興味ある男性対象の「シニアモニター座談会」を開催しました。座談会の中で用賀地区に「グリーン（植物）を増やしてみないか？」という意見がでました。

令和3年12月用賀地区の植栽スペースがある場所を見学、令和4年6月瀬田フラワーランドにも出向き、東日本大震災をきっかけに生まれた「たねダンゴ」作りを学びました。また、用賀出張所の花壇に「たねダンゴ」の植え込み作業を行いました。

現在、メンバーは総勢8名です。「まちづくりセンター」「社会福祉協議会」「あんしんすこやかセンター」の三者が関わっています。活動名はメンバーが「ちよこグリLABO」と命名しました。用賀出張所の花壇整備は継続中で、アサガオなども植えて育つかLABO中です。令和5年4月から障害者就労施設でもたねダンゴ作りを展開、芝桜なども植えて育つかLABO中です。

■健康貯金スタンプラリーしませんか？

コロナ禍による閉じこもり予防の地区課題から生まれました。「まちづくりセンター」「社会福祉協議会」「児童館」「地域障害者相談支援センター」「あんしんすこやかセンター」の五者で取り組んでいます。参加者は主に高齢者ですが、どなたでも参加できます。

健康貯金の為にスタンプをためましょう。

参加者募集→登録会に参加し、参加登録→スタンプカードを受け取る→スタンプステーションに行き、スタンプを押す（1日1個だけ押せる。）→スタンプカード達成枚数に到達→表彰式・交流会にご招待

★スタンプステーション…用賀地区に10か所以上あります。「障害」「高齢」「子ども」「公共施設」「消防署」「銭湯」にスタンプ設置のご協力をいただいています。

開催告知は、SNSを活用し情報発信しています。今まで、繋がりのなかった方が参加されるきっかけにもなっています。

健康貯金スタンプラリーで、新たな社会交流が生まれています。



▲スタンプカード①



▲スタンプカード達成者



▲スタンプラリー表彰式



▲スタンプラリー交流の一幕



▲ちよこグリ活動風景①



▲ちよこグリ活動風景②



▲ちよこグリ活動風景③



用賀あんしん
すこやかセンター
ホームページ ▲

東京ケアリーダーズ活動紹介

社会福祉法人 三幸福社会 特別養護老人ホーム 癒しの里南千住
介護課副主任／広報委員長／行事委員長／リクレーター
東京ケアリーダーズ 代表／KAiGO PRIED アンバサダー

なりた うんの
成田 雲乃

テーマ 『新体制を迎える東京ケアリーダーズ』

■はじめに

初めまして。今年度から、東京ケアリーダーズの代表を務めさせていただき事となりました成田雲乃（なりたうん）と申します。福祉科の大学を卒業し、介護業界に就職し5年目を迎えました。入団して一年とまだまだ不慣れではありますが、メンバーと協力して精進して参りますのでよろしくお願いいたします！



■東京ケアリーダーズとは

東京ケアリーダーズを知らない方の為に、まず初めに団体のご紹介をさせていただきます。東京都内の特別養護老人ホーム等、高齢者福祉施設・事業所で働く現役の若手介護職が施設長からの推薦の元、選出され集まったのが東京ケアリーダーズです。



■これまでの活動

コロナ禍ということもあり、対面での活動が難しい中での介護魅力冊子「YOSUGA」作成。アドバイザーとして在籍している、杉本浩二さんによる講演を通しての研修会を開催し他施設の介護職を集めケアリーダーズも一緒に学ぶという活動を主に行って参りました。



■これからの活動

学生を対象に、介護職と関わり福祉を身近に感じてもらう活動や、現役の介護職を対象に、現場の第一線で働く者同士で気軽にトークし、やりがいやモチベーションの再認識や離職の軽減に繋がる活動を企画中です。アドバイザーの杉本さんの力は引き続きお借りしながら、ケアリーダーズのメンバー1人1人の魅力にスポットを当て、介護職としての憧れを抱いてもらえるような存在を目指していきます。

■代表の想い

少子高齢化による深刻な人手不足で、毎日過酷な業務をこなしている介護・福祉従業者がほとんどかと思えます。辛くて表情が曇る日も多いですが、笑顔にしてくれるのもまた“介護の現場”でのエピソードが多くあります。自分たちの役目に誇りを持ち、介護・福祉の可能性を我々東京ケアリーダーズが広めていけるよう取り組んで参ります。



生活相談員研修委員会

生活相談員研修委員会 代表幹事
社会福祉法人青梅福祉協会 特別養護老人ホーム 青梅園
生活相談員 ^{すずき}鈴木 ^{けんたろう}謙太郎

■ご挨拶

この度、生活相談員研修委員会の代表幹事を務めさせていただくこととなりました、特別養護老人ホーム青梅園の鈴木です。

長年、特養の生活相談員として従事してまいりましたが、ここ数年で求められる役割が大きく変化していることを実感しております。

高齢者福祉施設協議会 制度検討委員会による入居待機に関する実態調査では、ここ数年の待機者の減少等の影響から、都内の特養が「入所できない施設」から「早期に入所可能な施設」へと変化していることが示されました。これにより、生活相談員には入所稼働率の維持・向上という重要な課題が強く求められています。

もちろん、施設の運営・経営において稼働率の安定は欠かせません。しかし、生活相談員本来の役割とは、「ソーシャルワーカー」として、社会的な困難を抱える方々を支援し、その生活の質を向上させることだと考えております。

「福祉の仕事」に従事する者として、その使命を胸に刻みながら、前向きに様々な課題に取り組んでまいります。皆さまのご協力を賜りながら、誠心誠意努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■生活相談員研修委員会の活動内容

令和6年度は、年5回の委員会開催、各種研修会の実施、さらに各地域ブロックにおいて2～4回のブロック会を実施し、積極的に学びと交流を深めました。

<ソーシャルワークアカデミー>

令和6年度より全6回の一日研修へと変更し、内容を刷新しました。

受講生それぞれの悩みや課題に対し、課題実行計画を立案し、研修で得た知識を業務に取り入れながら、実践・振り返り・再考を繰り返し、課題解決に取り組みました。

<リスクマネジメント研修会>

弁護士の先生を講師に迎え、カスタマーハラスメントへの対応、利用料未収金への対策など、生活相談員が直面するリスクマネジメントの課題について学びました。

<ソーシャルワーク研修会>

対話型演習とグループワークを通じて「ソーシャルワークの役割、高齢者福祉のコロナ以降の地域交流のスタイルの変化と再構築」について、より深い学びを得ました。

<サービスマナー研修会>

講義・個人ワーク・グループワークを組み合わせ、ストレスマネジメントコミュニケーション技術についての研修を実施しました。

■今年度の活動について

生活相談員研修委員会では、『学び・交流・活力』を重点課題として掲げ、各種委員会の開催や地域ブロックでの活動に力を入れてまいります。より活力ある委員会を目指し、多職種連携の要とされる相談員ならではの視点を活かしながら、他の委員会との交流も積極的に検討していきます。

福祉・介護の魅力にまつわるなんでもエピソード

社会福祉法人こうほうえん／デイサービスセンターうきま幸朋苑 主任 **やすだ みきや 安田 幹也**

誰だって笑ったら元気がでる

【施設紹介】

社会福祉法人こうほうえんは設立38年、うきま幸朋苑は開設18年、介護・保育・障害の複合施設です。日常的に交流があり社会性を生み出す場所となっています。

【私の取組み】

私は入職して16年、相談員を経て現在デイサービスで介護士として勤務しています。とにかく「人」を笑わせることが好きで、日々誰かを喜ばせる、驚かせる、笑顔にすることを考えながらご利用者に接してきました。要介護となっても、一時でも以前の日常を取り戻し生きている喜びを感じてもらえるよう常にニーズを把握しサプライズの提供を考えています。

【サービス】

現在デイサービス事業所では、ご利用者の日直係に加え毎月数多くのイベント（新年会、花火鑑賞会、縁日、園児との運動会、美容学校生によるマッサージ・ネイル・メイク施術、書道教室、アクセサリー作り、フラダンス、似顔絵モデルなど）を開催していますが、笑顔や歓喜の声が溢れ、どんどん元気になっておられるのを日々実感しています。

渋々始めた日直係が自信に変わる、トロミ食の方がほんのり赤ら顔で「美味しい」とお酒を飲む、子供たちと本気の玉入れ合戦で勝利の万歳、杖を手放しフラダンスを披露、何年ぶりかのメイクでお洒落になる姿など目にしてきました。

ただ単に楽しんでもらうだけでなくご利用者が本来持っていた能力を発揮できる機会にもなっています。それは私たちの想像を超え、ご利用者がキラキラと輝き自信を取り戻す瞬間でもあり、私たちのエネルギーになっています。一瞬の小さな出来事かもしれませんが、これからも心の底から笑って元気になれるきっかけ作りを続けていきたいと思えます。



読者モニターからのご意見（一部抜粋） - 60号 -

- 採用につながった方が長く働けるよう職場全体でフォローしていく環境づくりも大切だと思いました。【特集】
- 「専門学校教員から見た介護施設について、良い施設とはどんなところを観察しているのか」ぜひ詳しく知りたい内容でした。【ブロック活動だより】
- 複数の法人で就職フェアを開催すればよいという発想が素晴らしいなと思いました。【うわさの施設】
- なぜ、閲覧数が多くなったのか気になったので、記事に対して寄せられたコメントなどがあれば、よりいいと思いました。【高齢協トピックス】
- 文章で特に読んで欲しいところを太字（単語や一行程度）にすると読みやすいと思いました。【その他】
- ▶いただいたご意見はよりよい機関誌発行のために活かしてまいります。

編集後記

アクティブ福祉第61号をお読みいただき、ありがとうございます。要介護高齢者の増加に伴い福祉に携わる人員確保が急務となっています。

福祉人材の確保、定着のために「福祉の楽しさ」を伝え、笑顔を増やす取り組みが必要であると考えます。今回の分科会報告では、「笑顔を地域に広げよう」をテーマにした取り組みが紹介されています。このような取り組みのように、働きたいと思える福祉業界を目指し、様々な取り組みと情報の発信を高齢協とともに実施していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。
社会福祉法人多摩養育園／特別養護老人ホーム椋の里
施設長 内藤 昭彦

高齢協公式 SNS 更新中♪
フォロー、
よろしくお願いします🐾



読者アンケート



Facebook



Instagram



高齢協公式
@TokyoKourei



高齢協会長
@koureikyko



東社協
東京都高齢者
福祉施設協議会

